

せ ん

ぼ

通信

No.132

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「盆祭り」

8月15日は、中田町地区の盆祭りで今でもその風習が続けられています。

その15日に、「盆祭りでいなり寿司を作りましたのでどうぞ…油揚げは市販のですが、ご飯はこだわりました」と、中田町のお客様。

容器にきれいにならべられた「いなり寿司」
息子くらいの年齢のお客様の笑顔…笑顔…
初めてのことなので…ビックリ…恐縮…

ありがとうございます。

「お稲荷様ってどこですか？」 赤鳥居です。
うちの稲荷様をお参りして、お帰りの際には、
「良いお盆になりますように…」

もう…良いお盆になってます…私…☺☺
いなり寿司を稲荷様にお供えしてから、男性の
手作りは初物なのでワクワク…モグモグ…
私には新しい味で美味しかったです。 後日、
「あのお参りの後、女の子が生まれました」

それはおめでとうございます…8月15日が
お誕生日なんですね。「はい…☺☺」
お喜びのおすそ分けはうれしいものですね。

「いなり寿司のご飯のレシピ」

カンタン酢に甘酢生姜のみじん切り」

[3375XXXXXXX]の番号でかかってきた電話。 音声で、「携帯電話の料金が支払われておりません このままでは通話ができなくなります…」 33から始まる電話番号は、初めてだったので詐欺と思いすぐに電話を切った。でも、10日前にスマホを新しく変更したばかりだったので、あの時何か不都合な事が?…とか一瞬でも思ってしまった。

詐欺の電話は、初めにドキッとするようなセリフで、オロオロさせて…だますやり方です。

050からの電話もダメダメ…

「売って下さい…」が多いです。今は、ナビと電話番号で家まで押しかけられる時代…怖いです。

知らない人からの電話は「ごめんなんしょ」で切っていい。

やっぱり…見ていてくださる

書展の案内をいただき久々に文化センターへ。

作品はもちろん…皆さんの雅号も楽しみに。

眞智子先生の雅号…「一以」…を見た瞬間、

「ああ…すごいご夫婦愛…」と感動。

後日、その事を眞智子先生に話したら、

「あの雅号は先生がつけてくれたの…見た時はちょっと驚いたけど、涙が出てきちゃったの…」と。

そういう事だったのですね。 それは…きっと、「僕の名前を使えばいいよ」という、天空からの一以先生のお手配だったのでしょうか。

どなたでも、大切だった方から見守られている
こちらからは見えなくても…きっと。

散る桜残る桜も散る桜 良寛



書 星 一以(眞智子)